

PAUL JOHNSON

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Director of the Institute for Fiscal Studies, UK's leading economic research institute
- Board member of the Climate Change Committee, of the Office of Tax Simplification, and of the Banking Standards Board



ポール・ジョンソンは、2011年1月から、英国を代表する経済研究所である財政研究所の所長を務めています。IFSは、2014年と2015年に2年連続でプロスペクト「シンクタンクオブザイヤー」賞を受賞した最初の組織になりました。そして、4年連続で「経済的および財政的」シンクタンクオブザイヤーを受賞しています。IFSは、2つの主要な研究センターをホストし、公共政策における主導的な役割と世界をリードする学術経済研究を組み合わせています。

Paulは、UCLの経済学部の客員教授であり、The Timesのコラムニストでもあります。彼は、気候変動委員会、税務簡素化局、および銀行基準委員会の理事であり、現在はキングス基金の受託者です。彼は政府の年金政策と英国統計局の価格統計のレビューを主導してきました。

Topics

- Economics
- Finance

パウロは、公共政策の経済学に焦点を当てて一生を過ごしてきました。オックスフォードを卒業した後、彼はFSAで呪文を唱える前に、IFSで働き、教育省のチーフエコノミストとして、また大蔵省の公共支出のディレクターとして、政府経済庁の副責任者を務めました。彼はまた、フロンティアエコノミクスで公共政策に取り組んできました。

彼は執筆および放送メディアに頻繁に寄稿しており、多くのラジオ番組を制作しています。彼は、税金、福祉、不平等、年金、教育、気候変動、財政などの公共政策の経済学について幅広く発表しています。彼は年金、税金、不平等に関する主要な本の著者です。

ポールジョンソンはエクセター大学から名誉博士号を授与され、財政トップ50、高等教育トップ50の「パワーリスト」、および国際税務調査のグローバルトップ50に選ばれました。

2018年、ポールは社会科学と経済学へのサービスに対して、女王の誕生日の荣誉リストでCBEを授与されました。